

原発ゼロ・九条実現へ！知事選必勝！

横山ふみ子医師

事務所ニュース



2020年
7月6日
第4号

「原発ゼロ・九条実現めざす1万人の会」

鹿児島市荒田1-62-6

電話 256-7313 FAX 256-7315

(部内資料)

“平和とは世界の人々が無事であること” 原発ゼロ・九条実現・コロナ対策こそ最大の保障

7月4日、中央駅前東口広場で計画していた総決起集会は、豪雨とコロナ感染症拡大のため取りやめ、街頭演説会に切り替えました。横山ふみ子候補の訴えを聞いた人々が「トツトツとした語り口の中に強い信念と決意が感じられてとても感動した」と口をそろえて語ります。横山候補の原発ゼロ・九条実現の公約が「平和とは何でしょう？突き詰めていけば、世界の人々が無事であることです」と言い切れる深い信念にもとづいているからです。「この人の主張は本物だ。信頼できる人だ」と共感を広げています。

日本の安心安全のため、私利私欲なく無償で疫学調査 若者よりパワー、体力あり、優しく強い信念の横山候補

○横山候補が院長をつとめる清水内科の職員は、「先生は患者様一人ひとりに敬意をもって立ち上ってあいさつされ、丁寧に対応されます。土・日は、日本の安心安全のために私利私欲なく無償で東北に疫学調査に出かけられ、若者よりパワーと体力もあります。知事になったら県民一人ひとりに寄り添ってマニフェストをやり抜く素晴らしい知事になれる方です。」と支持を訴えました。

○横山候補が代表をつとめる『東北と鹿児島の住民を比較する健康調査=疫学調査団』の一員で友人の牛山元美医師(写真右)は、「子どもの甲状腺ガンの不安におびえる福島のお母さんたちが、『私たちの不安に応じてくれるお医者さんが鹿児島にいる』と話しているのを聞いて横山先生を知った。国の言いなりにならず、真相を明らかにするため私財を投じる医者は横山先生だけです。」と熱く訴えました。



逆転勝利へ横山候補押し上げの大波を起こそう！

前半戦を終えて、選挙ハガキやビラを見た人、演説を聞いた人達からの激励や支持表明が寄せられるなど横山候補への支持が広がっています。逆転勝利へ有権者全体に浸透を図るには、残る1週間で法定ビラを一日も早く届け切り、電話かけのテンポを大きく引き上げることが必要です。

電話かけとビラ配布のボランティア大募集

横山ふみ子事務所には、連日多くのボランティアが支援に駆けつけています。

選挙必勝に、今一番必要な応援は、事務所に残っている約4万枚の法定ビラを配布する活動です。100枚でも200枚でも配りますという方の応援をお願いします。電話で横山さんへの支持をお願いする電話かけ(写真右)の協力も大歓迎です。短時間でもよいのでよろしくお願いします。



各地の個人演説会、街頭演説盛況

コロナ禍と大雨の対策を取りながら開催

西之表、奄美に続いて7月3日に鹿屋市で横山候補の個人演説会が開かれ、雨にもかかわらず60人が参加。鹿屋市の他、肝付町、南大隅町からも支援者が駆けつけ、「横山さんが立候補してくださり、主張もはっきりしていて私たちの願いを託せる選挙になりました」と感謝を表明、必勝のために頑張る決意を述べました。主催者代表の松下徳二さんは「声をかけた人の8割が来てくれた。みんな横山さんの人柄に魅せられたようで満足して帰ってくれた。地球星のCDを流して一層盛り上がった」と感想を述べています。参加者から横山候補に帽子のプレゼントもありました。



鹿屋の演説会にて



鹿児島・いづろ交差点にて街頭演説



鹿児島中央駅にてスタンディング



鹿児島・谷山にて街頭演説

県内外から激励と支援、同窓生有志も必死

大阪から駆け付けた支持者は5日、雨の午前・午後で1000枚の法定ビラを配布。昼間は天文館のスタンディングにも参加。スピーチでは、横山さんのような素晴らしい候補に出会えて応援できることは最高の幸せという強い思いを語りました。

加治木高校時代の同学年の方々は事務所に連日駆けつけてビラ折りなど手伝う人や、手紙やメールで県内の同学年に横山ふみ子さんへの支持を訴え、たくさんの激励メッセージを受け取り、横山候補に知らせる活動に取り組んでいる人など、自発的な応援活動が広がっています。

荒田の事務所では、臨時電話を活用して1人100人前後の対話に取り組んだり、ビラ配りに出かけるなどの支援が増えてきました。さらに多くのみなさんのご支持をお願いします。

候補者カーのスケジュール

- 6日 大隅(曾於、志布志、大崎等)
- 7日 北薩(薩摩川内、阿久根、出水)
- 8日 鹿児島市内

「会」カーのスケジュール

- 6日 鹿児島市内
- 7日 霧島方面
- 8日 大隅方面